

令和3年7月より2年4カ月間、市社協の健全化を図る趣旨で、正副会長同席の下で協議を進めてまいりました。議題によっては、社会福祉法人を担当する直方市担当課の役職員さんの出席を求め、法的アドバイスを受けながら協議を行いました。市社協の事務処理や理事会及び評議員会における法令違反等につきましては、市社協の理事会や評議員会で指摘し改善を求め、内容によっては直方市を通じて市社協事務局に対して口頭指導していただいております。市社協の理事は、理事会における議決権の行使等を通じ、法人の業務執行の意思決定に参画するとともに、理事長（市社協の場合は会長）や他の理事の職務の執行を監督する役割を担います。また、市社協の評議員は、議決機関として社会福祉法人の重要事項を審議し、役員（理事・監事）の選任・解任等を通じ、事後的に法人運営を監督する機関として位置付けられる評議員会の構成員です。

先日、糸田町の社会福祉法人の不祥事が新聞テレビで大きく報道されましたが、「理事長が意中の人物を理事にすることを企て、金品を貰い受け、評議員会議事録を偽造した」容疑でした。法人の「お目付け役」で監視役の評議員会が機能せず、法人理事も理事長の関係者で固められ、理事長による法人の私物化や、ガバナンス（組織統治）の欠如が大きく影響していると思われま

す。市社協執行部並びに事務局長による自公連敵視の事実を歪めた言動は、あたかも自公連が市社協を混乱させていると、諸事情を知らない人たちを誤認させるもので到底看過できません。

市社協の自公連推荐理事は令和4年度まで3名でしたが、令和5年8月23日開催の理事会（自公連理事は欠員）において、突然規定の一部改正を行い1名減とされ自公連枠は2名になりました。本来、理事選出区分の変更は任期満了前の理事会で審議するべきところを、令和3年12月現一尾会長が選任された理事会と同様、自公連理事が不在の中で推薦区分の変更という重要な議案を審議したものです。

ところで、自公連選出評議員らが社会福祉法に基づいて一尾会長に対し請求した「評議員会招集請求」に関して、一尾会長が評議員会の招集を行わなかったため、自公連選出評議員らは直方市に対し「評議員会招集許可申請書」を提出したところ、直方市から「社会福祉法第45条の9第5項の規定により認可します」との評議員会招

集許可が下りました。（これにより自公連選出評議員らが評議員会を招集することが可能になりました）当該議案審議については評議員会で審議すべき必要がありますが、市社協正副会長に關係する議案のため、市社協は、理事会で審議する法的根拠がないにも係わらず審議を行い、他の議案審議の評議員会においても「自公連選出評議員の招集請求は権限濫用である」等の文書を配布し、評議員会招集を阻止しようとした行為は、社会福祉法人の私物化に等しいと思われま

す。一尾会長並びに事務局長は、過日、直方市に対して、「評議員会招集請求許可の理由を、市社協理事会及び同評議員会で説明することを求める文書」を提出していますが、市社協は、直方市から毎年6千万円以上の補助金を受けている公益性の高い法人という位置づけを忘れ、法人を監督する所轄庁に反発するような行為は常軌を逸していると言っても過言ではないと思われま

す。また、令和5年10月に中央公民館で開催された「第216回評議員会」では、自公連推薦理事の選任議案審議の際、議案審議に影響を与える文書が当日配布されました。（評議員を誤信させ採決を誘導していると思われる文書）議案審議に關連する文書は、監事らが事前に調査する義務がありますがそれもなく配布されました。（社会福祉法第45条の18第3項において準用する一般法人法第102条違反）上記、評議員会議案審議において、市社協正副会長と極めて親しい評議員4名の方が「激しく野次を飛ばす等」の妨害行為もありましたが、小林評議員は動揺することもなく毅然として、自公連推薦理事の人物像などを語っておられました。本部専門委員会は、市社協の理事会及び評議員会で問題化された「頓野幼稚園の建築工事（三分二が補助金）に関して、直方市教育委員会に対し「公開質問状」を發出し、その回答書の中で、直方市教育委員会は「頓野幼稚園の建築工事発注の入札事務において、建設業法施行令第6条に違反した事実を認知している」と公式に明らかにしました。見積期間が大幅に短縮された為、ほぼ市内業者全社が辞退するという異常な現象が起きたことは、直方市が掲げる地場企業活性化の意味でも残念なことと存じます。

本部専門委員会は、これからも直方市や法律の専門家に相談しながら、市社協の正常化に向けて活動してまいります。

今後のスケジュール

- 12月8日(金) 正副会長会議
- 12月15日(金) 理事会
- 1月12日(金) 市長会談
- 1月25日(木) 福岡県公民館実践交流会
- 2月2日(金) 拡大事務局会
- 3月8日(金) 正副会長会議
- 3月15日(金) 理事会

校区・自治区公民館からのお知らせ募集!!

今回は、第2回福地校区全域避難訓練をご紹介します。あなたの地域や校区のイベントやお知らせを掲載してみませんか？掲載スケジュールは、年3回（6月・11月・2月）です。  
●お申し込み／自公連本部専門委員会・事務局（TEL070-1990-4172）



自分たちの「まち」は自分たちで守る!!

直方市自治区公民館連合会

みんなで「住んで良かったと思えるまちづくり」直方市自治区公民館連合会は”1チーム”!

発行担当：自公連本部専門委員会・事務局（TEL070-1990-4172）／発行協力：直方市役所 防災・地域安全課



まちづくり研修会&自公連創立10周年記念祝賀会

令和5年度 まちづくり研修会 (参加者50名)



講師 矢野利隆 様



直方市自治区公民館連合会創立10周年記念祝賀会 (参加者45名)



一元化功労者表彰

左から 魚住隼人 様・石山洋一 様・田代会長・上村 清 様・上川光明 様



直方市長 大塚進弘 様



直方市議会議長 田代文也 様



福岡県共同募金会 直方市支会 支会長 万田 康 様



直方市まとい会 副会長 永富政英 様



直方市教育長 山本栄司 様

令和5年11月10日（金）エクセレントガーデン迎賓館に於いて、「令和5年度まちづくり研修会及び直方市自治区公民館連合会創立10周年記念祝賀会」を実施しました。

まちづくり研修会では、講師に北九州教育事務所社会教育主事の矢野利隆様をお迎えし『一人一人が生き生きと生きていけるまちづくり～地域学校協働活動を通して～』とのテーマで研修させていただきました。研修会後の自公連創立10周年記念祝賀会では、田代英次会長より自公連創立に際し、多大なるご尽力をいただいた4名の諸先輩方に感謝状が贈呈されました。

研修会及び記念祝賀会の開催にあたり様々なご尽力を賜った皆様方、並びに、ご参加いただいた皆様に衷心より御礼申し上げます。また、所用によりご出席できなかった関係者の皆様には、研修会並びに記念祝賀会が盛会裡に終了したことをご報告させていただきます。

**第68回 福岡県公民館大会** 令和5年8月3日(木) 岡垣町 岡垣サンリーアイ



令和5年8月3日(木) 岡垣サンリーアイで「ウェルビーイングの実現を支える地域コミュニティの拠点としての公民館活動の在り方」～これからの人づくり・つながりづくり・地域づくり～をテーマとした第68回福岡県公民館大会に参加しました。(参加者8名)

**令和5年度直方市自治区公民館連合会・直方市環境衛生連合会合同視察研修会**  
令和5年9月29日(金) 北九州エコタウン/九州製紙工場

**北九州市エコタウン**



**九州製紙工場**



令和5年9月29日(金) 直方市環境衛生連合会との合同視察研修会で、北九州エコタウンでは『リサイクル』や『循環型社会』などを学び、九州製紙株式会社九州工場では、西日本地域で発生する様々な古紙を再生利用し、高品質のトイレトーパーを生産する工場を視察しました。(参加者16名)



**第2回福地校区全域避難訓練** 令和5年10月1日(日) 福地小学校体育館



令和5年10月1日(日) 福地校区自主防災会主催の『福智山麓で大規模土石流発生・大型台風接近』による避難を想定した「第2回福地校区全域避難訓練」が実施されました。(参加者200名超) 今年度から、福地校区に校区社会福祉協議会(会長安田幸生)が設立され、今回、共催を得たことで昨年以上に充実した訓練ができたとのことでした。なお、当自公連からも、防災・防犯推進分科会のメンバーを中心に15名が研修のため参加しました。

**第2回校区対抗パークゴルフ大会**  
令和5年10月14日(土) 植木桜つつみ公園パークゴルフ場



令和5年10月14日(土) 植木桜つつみ公園パークゴルフ場にて、第2回校区対抗パークゴルフ大会を開催しました。(参加者51名)  
ご来賓として大塚市長をはじめ、秋吉副市長、山本教育長にご出席いただき、選手の皆さんに激励のお言葉をいただきました。  
入賞された皆様はじめ参加された皆様のご健闘を称えますとともに、スムーズに大会を終えられたところであり、関係各位に深く感謝を申し上げます。

▶ 校区別順位

順位	校区	アベレージ
1	感田小校区	54.50
2	新入小校区	61.00
3	上頓野小校区	69.75



▶ 個人別順位

順位	所属	氏名	Aコース	Bコース
1	感田	後藤和弘	25	27
2	感田	渡辺盛次	26	28
3	感田	北村勲	25	30